



# 小学校中学年《3・4年生》のみなさんへ

## 冬休みおすすめ本リスト

## 登別市立図書館 [2013年版]

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
絵本	<b>「北風ふいてもさむくない」</b>  あまん きみこ 文 西巻 茅子 絵 福音館書店	すてきなマフラーをあんでもらった、かこちゃんと きつね、うさぎ、ねずみの子どもたち。 みんなで「北風ふいても、さむくない」とうたいながら 歩いていると、どこからか小さななき声が 聞こえてきて…。
絵本	<b>「この世でいちばんすばらしい馬」</b>  チェン・ジャンホン 作・絵 徳間書店	おさないころから絵のしゅぎょうにはげみ、 宮廷(きゆうてい)の絵師(えし)となった青年と、 青年の絵から生まれ、せんじょうをかけた馬。 いくさのしんじつを目にした、ふしぎな馬の物語です。
絵本	<b>「ちきゅうがウンチだらけにならないわけ」</b>  松岡 たつひで 作 福音館書店	生きものがみんな、あちらこちらでウンチをしたら、 地球はウンチだらけになってしまうのでは？ だれもが一度は心配したことがあるこの問題を とおして、しぜんかいでのウンチの役わりを かいせつしています。
絵本	<b>「博物館の一日」</b>  いわた 慎二郎 作 講談社	きょうりゅうの化石やハチ公のはくせいなど、 さまざまなものがてんじされている博物館。 そこではたらく研究者はどんな仕事をしているの？ クジラのような大きなものはどのようにてんじするの？ 国立科学博物館をめぐる楽しい1日を絵本で さいげんしています。
図書	<b>「しょうたとなっとう」</b>  星川 ひろこ 星川 治雄 写真・文 ポプラ社	<b>「なっとうはよ、まほうの食べものだかな」</b> おじいちゃんと大豆(だいず)を育てるしょうた。 やがてそれは心のこもった、なっとうになりました。 なっとうがきらいなしょうたが、おじいちゃんとの 交流をとおして、なっとうができるまでを知る 写真絵本です。

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
図書	<b>「つるばら村の魔法のパン」</b>  茂市 久美子 作 中村 悦子 絵 講談社	くるみさんのパン屋「三日月屋(みかづきや)」が もうすぐ開店10周年をむかえます。 くるみさんは、10周年のおいおいに、どんなパンを つくるのでしょうか？
図書	<b>「ながいながいペンギンのはなし」</b>  いぬい とみこ 作 山田 三郎 絵 理論社	こわいものしらずのおにいさんのルルと、 おくびょうだけど心のやさしいおとうとのキキが、 力をあわせてきけんをのりこえ、たくましく育っ ていきます。 なんきよくに生まれたふたごのペンギンの物語です。
図書	<b>「ネコのタクシー」</b>  南部 和也 作 さとう あや 絵 福音館書店	かいねこになったトムは、ご主人へのお礼に タクシーを始めます。 ケーキを運んだり、きゅうきゅうしゃになったり、 だろぼうを追いかけたりと大いそがしです。
図書	<b>「町のゆきだるまのはなし」</b>  たかどの ほうこ 作 本庄 ひさ子 絵 佼成出版社	町を見ているのが大すきなゆきだるまには、 もっと大すきなことがありました。それは どこからかながれてくる、ピアノの音を 聞くことでした。 そんなゆきだるまにお手紙がとどきました。
図書	<b>「雪わたり」</b>  宮沢 賢治 作 とよた かずひこ 絵 岩崎書店	四郎(しろう)とかん子が歌いながら雪の上を歩いて 遊んでいると、きつねの紺三郎(こんざぶろう)も 歌に入ってきて友だちになります。 2人はきつねのげんとう会にしようたいされますが、 そこで…。